

(再評価)

資料 2-3-②

関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成24年度第2回)

一般国道14号 亀戸小松川立体

平成24年7月30日

国土交通省 関東地方整備局

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
一般国道14号	亀戸小松川立体	L = 2.5 km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
40,000~67,300	4 ~ 6	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	401億円	38億円	439億円
うち残事業分	269億円	18億円	287億円
基準年における 現在価値 (C)	421億円	12億円	433億円
うち残事業分	221億円	5.7億円	227億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	39億円	0.79億円	0.75億円	40億円
基準年における 現在価値 (B)	595億円	13億円	11億円	618億円
うち残事業分	340億円	9.6億円	8.0億円	358億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	185億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.2%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	131億円
経済的内部収益率（残事業）	6.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

（事業全体）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	40,000～67,300 （台/日）	±10%	1.3～1.6
事業費	401億円	±10%	1.4～1.5
事業期間	36年	±2年	1.3～1.5

（残事業）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	40,000～67,300 （台/日）	±10%	1.4～1.7
事業費	269億円	±10%	1.4～1.8
事業期間	8年	±2年	1.4～1.6

交通状況の変化

事業名：亀戸小松川立体（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新築・改築道路[亀戸小松川立体]:2.5km	交通量	[台/日]	54,000	57,800	
	走行時間	[分]	6	5	
	走行時間費用	[億円/年]	62.53	55.99	
②主な周辺道路	首都高速7号小松川線:16.1km	交通量	[台/日]	74,400	74,200
		走行時間	[分]	35	35
		走行時間費用	[億円/年]	240.55	238.35
	国道6号:11.5km	交通量	[台/日]	43,800	43,700
		走行時間	[分]	45	45
		走行時間費用	[億円/年]	245.03	242.71
	国道14号:8.0km	交通量	[台/日]	35,100	35,000
		走行時間	[分]	30	30
		走行時間費用	[億円/年]	177.97	175.57
	国道357号:26.6km	交通量	[台/日]	49,100	49,000
		走行時間	[分]	198	197
		走行時間費用	[億円/年]	1,144.41	1,140.12
	環状3号線:8.1km	交通量	[台/日]	35,000	35,000
		走行時間	[分]	38	38
		走行時間費用	[億円/年]	167.43	166.50
	環状7号線:18.7km	交通量	[台/日]	29,100	29,000
		走行時間	[分]	107	107
		走行時間費用	[億円/年]	307.60	305.89
	東京浦安線（清洲橋通り）:1.2km	交通量	[台/日]	22,900	22,600
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	13.49	13.17
	東京浦安線（葛西橋通り）:5.6km	交通量	[台/日]	31,500	31,400
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	89.01	87.78
東京浦安線（永代通り）:6.7km	交通量	[台/日]	42,300	42,400	
	走行時間	[分]	25	24	
	走行時間費用	[億円/年]	126.49	125.87	
東京市川線:6.0km	交通量	[台/日]	26,900	27,000	
	走行時間	[分]	23	23	
	走行時間費用	[億円/年]	86.40	85.84	
市川浦安線:11.8km	交通量	[台/日]	38,900	38,900	
	走行時間	[分]	68	68	
	走行時間費用	[億円/年]	477.16	474.00	
千住小松川葛西沖線:4.0km	交通量	[台/日]	19,500	18,800	
	走行時間	[分]	10	10	
	走行時間費用	[億円/年]	37.13	35.13	

御徒町小 岩 線:7.8km	交通量	[台/日]	30,600	29,900	
	走行時間	[分]	36	36	
	走行時間費用	[億円/年]	126.71	122.19	
王子千住 南砂町 線:7.3km	交通量	[台/日]	30,600	30,600	
	走行時間	[分]	38	38	
	走行時間費用	[億円/年]	164.87	163.98	
市川柏 線:3.4km	交通量	[台/日]	22,200	22,200	
	走行時間	[分]	31	30	
	走行時間費用	[億円/年]	126.41	125.78	
市川四つ 木 線:2.6km	交通量	[台/日]	11,300	11,200	
	走行時間	[分]	5	5	
	走行時間費用	[億円/年]	11.02	10.81	
永代葛西 橋 線:3.2km	交通量	[台/日]	26,800	26,700	
	走行時間	[分]	7	7	
	走行時間費用	[億円/年]	35.79	35.39	
吾妻橋伊 興町 線:4.5km	交通量	[台/日]	12,900	12,700	
	走行時間	[分]	14	14	
	走行時間費用	[億円/年]	25.55	25.10	
本郷亀戸 線:3.0km	交通量	[台/日]	24,500	24,500	
	走行時間	[分]	10	10	
	走行時間費用	[億円/年]	30.66	30.48	
新荒川葛 西堤防 線:2.6km	交通量	[台/日]	28,800	28,800	
	走行時間	[分]	12	12	
	走行時間費用	[億円/年]	33.91	33.78	
深川吾嬬 町 線:4.2km	交通量	[台/日]	27,300	27,100	
	走行時間	[分]	12	11	
	走行時間費用	[億円/年]	51.77	50.27	
新荒川堤 防 線:10.1km	交通量	[台/日]	5,900	5,600	
	走行時間	[分]	27	26	
	走行時間費用	[億円/年]	32.81	31.04	
江戸川堤 防 線:3.6km	交通量	[台/日]	2,000	1,900	
	走行時間	[分]	11	11	
	走行時間費用	[億円/年]	4.14	3.98	
③その他道路合計: 474.7km	走行時間費用	[億円/年]	4,387.66	4,386.62	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 653.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,206.48	8,166.35	40.13

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示



交通状況の変化

事業名：亀戸小松川立体（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新築・改築道路[亀戸小松川立体]:2.5km	交通量	[台/日]	55,000	57,800
	走行時間	[分]	6	5
	走行時間費用	[億円/年]	57.03	55.99
②主な周辺道路	首都高速7号小松川線:16.1km	交通量	[台/日]	74,200
		走行時間	[分]	35
		走行時間費用	[億円/年]	239.07
	国道6号:11.5km	交通量	[台/日]	43,800
		走行時間	[分]	45
		走行時間費用	[億円/年]	244.88
	国道14号:8.0km	交通量	[台/日]	34,900
		走行時間	[分]	30
		走行時間費用	[億円/年]	176.41
	国道357号:26.6km	交通量	[台/日]	49,000
		走行時間	[分]	198
		走行時間費用	[億円/年]	1,142.01
	環状3号線:8.1km	交通量	[台/日]	35,000
		走行時間	[分]	38
		走行時間費用	[億円/年]	167.00
	環状7号線:18.7km	交通量	[台/日]	29,200
		走行時間	[分]	107
		走行時間費用	[億円/年]	308.13
	東京浦安線（清洲橋通り）:1.2km	交通量	[台/日]	22,600
		走行時間	[分]	3
		走行時間費用	[億円/年]	13.22
	東京浦安線（葛西橋通り）:5.6km	交通量	[台/日]	31,400
		走行時間	[分]	16
		走行時間費用	[億円/年]	88.08
東京浦安線（永代通り）:6.7km	交通量	[台/日]	42,400	
	走行時間	[分]	25	
	走行時間費用	[億円/年]	126.14	
東京市川線:6.0km	交通量	[台/日]	27,000	
	走行時間	[分]	23	
	走行時間費用	[億円/年]	86.15	
市川浦安線:11.8km	交通量	[台/日]	38,900	
	走行時間	[分]	68	
	走行時間費用	[億円/年]	476.04	
千住小松川葛西沖線:4.0km	交通量	[台/日]	19,100	
	走行時間	[分]	10	
	走行時間費用	[億円/年]	35.85	

御徒町小 岩 線:7.8km	交通量	[台/日]	30,700	29,900	
	走行時間	[分]	37	36	
	走行時間費用	[億円/年]	130.23	122.19	
王子千住 南砂町 線:7.3km	交通量	[台/日]	30,600	30,600	
	走行時間	[分]	38	38	
	走行時間費用	[億円/年]	164.49	163.98	
市川柏 線:3.4km	交通量	[台/日]	22,200	22,200	
	走行時間	[分]	31	30	
	走行時間費用	[億円/年]	126.14	125.78	
市川四つ 木 線:2.6km	交通量	[台/日]	11,300	11,200	
	走行時間	[分]	5	5	
	走行時間費用	[億円/年]	10.98	10.81	
永代葛西 橋 線:3.2km	交通量	[台/日]	26,700	26,700	
	走行時間	[分]	7	7	
	走行時間費用	[億円/年]	35.44	35.39	
吾妻橋伊 興町 線:4.5km	交通量	[台/日]	12,800	12,700	
	走行時間	[分]	14	14	
	走行時間費用	[億円/年]	25.42	25.10	
本郷亀戸 線:3.0km	交通量	[台/日]	24,400	24,500	
	走行時間	[分]	10	10	
	走行時間費用	[億円/年]	30.53	30.48	
新荒川葛 西堤防 線:2.6km	交通量	[台/日]	28,700	28,800	
	走行時間	[分]	12	12	
	走行時間費用	[億円/年]	33.79	33.78	
深川吾嬬 町 線:4.2km	交通量	[台/日]	27,100	27,100	
	走行時間	[分]	11	11	
	走行時間費用	[億円/年]	50.39	50.27	
新荒川堤 防 線:10.1km	交通量	[台/日]	5,600	5,600	
	走行時間	[分]	26	26	
	走行時間費用	[億円/年]	30.88	31.04	
江戸川堤 防 線:3.6km	交通量	[台/日]	2,000	1,900	
	走行時間	[分]	11	11	
	走行時間費用	[億円/年]	4.13	3.98	
③その他道路合計: 474.7km	走行時間費用	[億円/年]	4,386.91	4,386.62	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 653.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,189.33	8,166.35	22.98

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示)



費用便益分析の条件

事業名: 亀戸小松川立体

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成24年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		関東地整における既存路線の実績を参考に設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単価算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.32	2.5	0.79	
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-36年目	S 60	2.8834	99.5	0.11	0.30		
-35年目	S 61	2.7725	101.2	0.47	1.21		
-34年目	S 62	2.6658	101.0	4.05	10.03		
-33年目	S 63	2.5633	101.5	7.21	17.08		
-32年目	H 1	2.4647	104.2	7.67	17.02		
-31年目	H 2	2.3699	106.5	5.59	11.67		
-30年目	H 3	2.2788	109.1	4.17	8.17		
-29年目	H 4	2.1911	110.6	2.72	5.06		
-28年目	H 5	2.1068	110.9	8.25	14.70		
-27年目	H 6	2.0258	110.8	3.01	5.16		
-26年目	H 7	1.9479	109.9	6.89	11.45		
-25年目	H 8	1.8730	109.5	0.78	1.25		
-24年目	H 9	1.8009	110.4	0.10	0.15		
-23年目	H 10	1.7317	109.9	2.10	3.10		
-22年目	H 11	1.6651	108.4	2.25	3.24		
-21年目	H 12	1.6010	107.2	2.49	3.49		
-20年目	H 13	1.5395	105.7	6.61	9.03		
-19年目	H 14	1.4802	103.8	7.05	9.43		
-18年目	H 15	1.4233	102.3	13.56	17.70		
-17年目	H 16	1.3686	101.0	8.85	11.25		
-16年目	H 17	1.3159	99.6	7.78	9.64		
-15年目	H 18	1.2653	98.7	11.49	13.82		
-14年目	H 19	1.2167	97.6	3.87	4.53		
-13年目	H 20	1.1699	96.8	2.90	3.29		
-12年目	H 21	1.1249	95.6	5.62	6.20		
-11年目	H 22	1.0816	93.8	1.59	1.72		
-10年目	H 23	1.0400	93.8	2.62	2.72		
-9年目	H 24	1.0000	93.8	1.91	1.91		
-8年目	H 25	0.9615	93.8	1.11	1.07		
-7年目	H 26	0.9246	93.8	10.43	9.64		
-6年目	H 27	0.8890	93.8	62.20	55.30		
-5年目	H 28	0.8548	93.8	62.20	53.17		
-4年目	H 29	0.8219	93.8	59.96	49.28		
-3年目	H 30	0.7903	93.8	23.33	18.44		
-2年目	H 31	0.7599	93.8	28.10	21.35		
-1年目	H 32	0.7307	93.8	21.87	15.98		
供用開始年度	H 33	0.7026	93.8			0.75	0.53
1年目	H 34	0.6756	93.8			0.75	0.51
2年目	H 35	0.6496	93.8			0.75	0.49
3年目	H 36	0.6246	93.8			0.75	0.47
4年目	H 37	0.6006	93.8			0.75	0.45
5年目	H 38	0.5775	93.8			0.75	0.44
6年目	H 39	0.5553	93.8			0.75	0.42
7年目	H 40	0.5339	93.8			0.75	0.40
8年目	H 41	0.5134	93.8			0.75	0.39
9年目	H 42	0.4936	93.8			0.75	0.37
10年目	H 43	0.4746	93.8			0.75	0.36
11年目	H 44	0.4564	93.8			0.75	0.34
12年目	H 45	0.4388	93.8			0.75	0.33
13年目	H 46	0.4220	93.8			0.75	0.32
14年目	H 47	0.4057	93.8			0.75	0.31
15年目	H 48	0.3901	93.8			0.75	0.29
16年目	H 49	0.3751	93.8			0.75	0.28
17年目	H 50	0.3607	93.8			0.75	0.27
18年目	H 51	0.3468	93.8			0.75	0.26
19年目	H 52	0.3335	93.8			0.75	0.25
20年目	H 53	0.3207	93.8			0.75	0.24
21年目	H 54	0.3083	93.8			0.75	0.23
22年目	H 55	0.2965	93.8			0.75	0.22
23年目	H 56	0.2851	93.8			0.75	0.21
24年目	H 57	0.2741	93.8			0.75	0.21
25年目	H 58	0.2636	93.8			0.75	0.20
26年目	H 59	0.2534	93.8			0.75	0.19
27年目	H 60	0.2437	93.8			0.75	0.18
28年目	H 61	0.2343	93.8			0.75	0.18
29年目	H 62	0.2253	93.8			0.75	0.17
30年目	H 63	0.2166	93.8			0.75	0.16
31年目	H 64	0.2083	93.8			0.75	0.16
32年目	H 65	0.2003	93.8			0.75	0.15
33年目	H 66	0.1926	93.8			0.75	0.15
34年目	H 67	0.1852	93.8			0.75	0.14
35年目	H 68	0.1780	93.8			0.75	0.13
36年目	H 69	0.1712	93.8			0.75	0.13
37年目	H 70	0.1646	93.8			0.75	0.12
38年目	H 71	0.1583	93.8			0.75	0.12
39年目	H 72	0.1522	93.8			0.75	0.11
40年目	H 73	0.1463	93.8			0.75	0.11
41年目	H 74	0.1407	93.8			0.75	0.11
42年目	H 75	0.1353	93.8			0.75	0.10
43年目	H 76	0.1301	93.8			0.75	0.10
44年目	H 77	0.1251	93.8			0.75	0.09
45年目	H 78	0.1203	93.8			0.75	0.09
46年目	H 79	0.1157	93.8			0.75	0.09
47年目	H 80	0.1112	93.8			0.75	0.08
48年目	H 81	0.1069	93.8			0.75	0.08
49年目	H 82	0.1028	93.8	-70.14	-7.21	0.75	0.08
合計				330.77	421.34	37.70	11.84
単純事業費計				400.91		37.70	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

					維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)		
					単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
					0.32	1.2	0.38
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-36年目	S 60	2.8834	99.5				
-35年目	S 61	2.7725	101.2				
-34年目	S 62	2.6658	101.0				
-33年目	S 63	2.5633	101.5				
-32年目	H 1	2.4647	104.2				
-31年目	H 2	2.3699	106.5				
-30年目	H 3	2.2788	109.1				
-29年目	H 4	2.1911	110.6				
-28年目	H 5	2.1068	110.9				
-27年目	H 6	2.0258	110.8				
-26年目	H 7	1.9479	109.9				
-25年目	H 8	1.8730	109.5				
-24年目	H 9	1.8009	110.4				
-23年目	H 10	1.7317	109.9				
-22年目	H 11	1.6651	108.4				
-21年目	H 12	1.6010	107.2				
-20年目	H 13	1.5395	105.7				
-19年目	H 14	1.4802	103.8				
-18年目	H 15	1.4233	102.3				
-17年目	H 16	1.3686	101.0				
-16年目	H 17	1.3159	99.6				
-15年目	H 18	1.2653	98.7				
-14年目	H 19	1.2167	97.6				
-13年目	H 20	1.1699	96.8				
-12年目	H 21	1.1249	95.6				
-11年目	H 22	1.0816	93.8				
-10年目	H 23	1.0400	93.8				
-9年目	H 24	1.0000	93.8				
-8年目	H 25	0.9615	93.8	1.11	1.07		
-7年目	H 26	0.9246	93.8	10.43	9.64		
-6年目	H 27	0.8890	93.8	62.20	55.30		
-5年目	H 28	0.8548	93.8	62.20	53.17		
-4年目	H 29	0.8219	93.8	59.96	49.28		
-3年目	H 30	0.7903	93.8	23.33	18.44		
-2年目	H 31	0.7599	93.8	28.10	21.35		
-1年目	H 32	0.7307	93.8	21.87	15.98		
供用開始年度	H 33	0.7026	93.8			0.36	0.25
1年目	H 34	0.6756	93.8			0.36	0.24
2年目	H 35	0.6496	93.8			0.36	0.24
3年目	H 36	0.6246	93.8			0.36	0.23
4年目	H 37	0.6006	93.8			0.36	0.22
5年目	H 38	0.5775	93.8			0.36	0.21
6年目	H 39	0.5553	93.8			0.36	0.20
7年目	H 40	0.5339	93.8			0.36	0.19
8年目	H 41	0.5134	93.8			0.36	0.19
9年目	H 42	0.4936	93.8			0.36	0.18
10年目	H 43	0.4746	93.8			0.36	0.17
11年目	H 44	0.4564	93.8			0.36	0.17
12年目	H 45	0.4388	93.8			0.36	0.16
13年目	H 46	0.4220	93.8			0.36	0.15
14年目	H 47	0.4057	93.8			0.36	0.15
15年目	H 48	0.3901	93.8			0.36	0.14
16年目	H 49	0.3751	93.8			0.36	0.14
17年目	H 50	0.3607	93.8			0.36	0.13
18年目	H 51	0.3468	93.8			0.36	0.13
19年目	H 52	0.3335	93.8			0.36	0.12
20年目	H 53	0.3207	93.8			0.36	0.12
21年目	H 54	0.3083	93.8			0.36	0.11
22年目	H 55	0.2965	93.8			0.36	0.11
23年目	H 56	0.2851	93.8			0.36	0.10
24年目	H 57	0.2741	93.8			0.36	0.10
25年目	H 58	0.2636	93.8			0.36	0.10
26年目	H 59	0.2534	93.8			0.36	0.09
27年目	H 60	0.2437	93.8			0.36	0.09
28年目	H 61	0.2343	93.8			0.36	0.08
29年目	H 62	0.2253	93.8			0.36	0.08
30年目	H 63	0.2166	93.8			0.36	0.08
31年目	H 64	0.2083	93.8			0.36	0.08
32年目	H 65	0.2003	93.8			0.36	0.07
33年目	H 66	0.1926	93.8			0.36	0.07
34年目	H 67	0.1852	93.8			0.36	0.07
35年目	H 68	0.1780	93.8			0.36	0.06
36年目	H 69	0.1712	93.8			0.36	0.06
37年目	H 70	0.1646	93.8			0.36	0.06
38年目	H 71	0.1583	93.8			0.36	0.06
39年目	H 72	0.1522	93.8			0.36	0.06
40年目	H 73	0.1463	93.8			0.36	0.05
41年目	H 74	0.1407	93.8			0.36	0.05
42年目	H 75	0.1353	93.8			0.36	0.05
43年目	H 76	0.1301	93.8			0.36	0.05
44年目	H 77	0.1251	93.8			0.36	0.05
45年目	H 78	0.1203	93.8			0.36	0.04
46年目	H 79	0.1157	93.8			0.36	0.04
47年目	H 80	0.1112	93.8			0.36	0.04
48年目	H 81	0.1069	93.8			0.36	0.04
49年目	H 82	0.1028	93.8	-32.02	-3.29	0.36	0.04
合計				237.18	220.94	18.10	5.68
単純事業費計				269.20		18.10	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道14号	亀戸小松川立体	4~6	2.5km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				11,643	
	改良費				1,476	
		土工	m3	114,800	1,189	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2			
		擁壁工	式			
		函渠工	m			
		排水工	m	2,600	255	
		中央分離帯工	m	830	12	
		雑工	式	1	20	区画線、舗装止め
	橋梁費				8,147	
		100m以上	m	1,008	6,417	連続高架橋
		100m未満	m	52	1,730	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費		式			
		IC	箇所			
		JCT				
	舗装費				1,418	
		車道舗装	m2	97,000	805	
		歩道舗装	m2	25,820	613	
	付帯施設費				602	
		交通管理施設工	式	1	232	防護柵工、道路照明等
		電線共同溝	式	1	370	
②	用地及補償費				24,121	
	用地費		m2	14,054	7,014	
		宅地	m2	14,054	7,014	
	補償費		式	1	17,107	
③	間接経費		式	1	5,936	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				41,700	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道14号	亀戸小松川立体	4~6	2.5km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				7,266	
	改良費				227	
		土工	m3	23,000	164	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2			
		擁壁工	式			
		函渠工	m			
		排水工	m	600	59	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	4	区画線、舗装止め
	橋梁費				6,417	
		100m以上	m	1,008	6,417	連続高架橋
		100m未満	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費		式			
		IC	箇所			
		JCT				
	舗装費				546	
		車道舗装	m2	41,000	337	
		歩道舗装	m2	8,820	209	
	付帯施設費				76	
		交通管理施設工	式	1	76	防護柵工、道路照明等
		電線共同溝	式			
②	用地及補償費				16,763	
	用地費		m2	10,065	3,202	
		宅地	m2	10,065	3,202	
	補償費		式	1	13,561	
③	間接経費		式	1	3,989	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				28,018	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道14号	亀戸小松川立体	4~6	2.5km

■維持管理費内訳

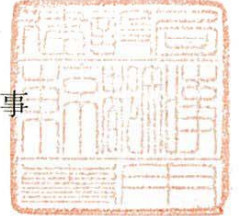
区分	単位	数量	金額 (百万円/ 年)	備考
維持費	km	2.5	42	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	38	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			79	



24建総企第221号
平成24年7月13日

国土交通省関東地方整備局長 殿

東京都知事



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

平成24年7月4日付国関整企画第80号にて照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	東京都知事の意見
一般国道14号 亀戸小松川立体	継続	<p>一般国道14号亀戸小松川立体は、渋滞緩和、事故減少、良好な沿道環境の形成、災害時の緊急輸送道路の確保など、事業の必要性が高く、継続は当然と考える。</p> <p>このため、必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進されたい。</p> <p>また、都では、東小松川交差点で、本事業区間と交差する千葉街道・船堀街道側で交差点改良事業を進めている。都と連携し、交差点部分の用地取得・工事等を進めるよう要望する。</p>

※貴都の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。